

# 資本論学習講演会

～マルクス生誕200年記念～

記

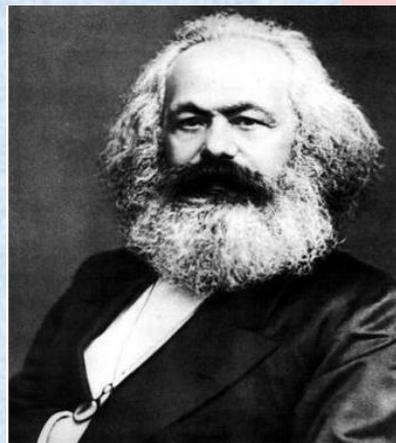
20世紀に最も影響を与えた思想家であるマルクス生誕200年を迎えました。2008年のリーマン・ショックを皮切りに、世界の資本主義が大きく動揺して「マルクスの亡霊」がふたたびさまよい出てきたということがいわれています。又、マルクスは「現代思想の開拓者」と言われる理由は何故でしょうか？マルクスは、資本主義を2つの視点から捉えています。

ひとつは、資本主義を完結したシステムと考え、それがどのように動いているかを分析したもので、『資本論』のテーマの大きな柱です。商品とは？価値と価格とは？拡大再生産による不況が発生する必然性はなど様々な資本主義制度において生ずる問題を科学的に解明しています。

そしてもうひとつは、資本主義を大きな歴史的発展のうちに位置づけ、資本主義の由来と未来への展望を明らかにするスタンスで、「唯物史観」と呼ばれています。

マルクスの唯物史観は、社会的な変化において「アジア的、古典古代的、封建的および近代市民的な生産様式」というかたちで展開し、近代市民的な資本主義によって「人間社会の前史」が終わることになると分析しています。

今日、日本はアベノミクスで株が上昇で景気が良いとか、国の借金も最大になり日本はどうなるのかなど不安や疑問をお持ちの方も多いかと思います。ぜひ資本論を勉強されることをお勧めします。学習の進め方、理論を学んで未来を考える力にして頂ければ誠に幸いに存じます。



- 講師：内田 裕
- 所属：日本共産党県書記長

- 日時：2018年2月10日 14:00～15:00
- 会場：ももちパレス視聴覚室  
地下鉄2番出口上がる(徒歩1分)
- 連絡先：092-411-4131
- 参加費：無料
- 事前受付：不要



お気軽にご参加ください

主催：日本共産党後援会

共催：日本共産党労働者後援会

日本民主青年同盟福岡県委員会